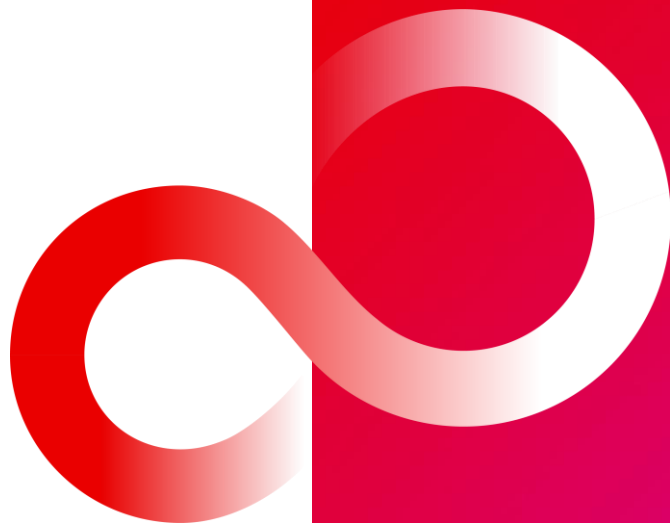


2022年度  
第2四半期

# 決算概要

2022年10月27日

富士通株式会社



1. 2022年度上期 連結業績概要
2. 2022年度 連結業績予想

# 1. 2022年度上期 連結業績概要

- **売上収益**      **1兆7,053億**      **423億の増収**
- **営業利益**      **1,009億**      **194億の増益**      **(営業利益率 5.9%)**
  - ① 国内・海外ともS I/サービスを中心に受注は拡大（DX、モダナイゼーション）  
S I/サービス 前年比 国内 108%、欧州 156%
  - ② 採算性の改善、成長投資の拡大は計画通り進捗
  - ③ 事業のカーブアウトによる一時利益を計上（PFU）
- **事業のカーブアウトによる一時利益もあり、営業利益は過去最高益**

(単位：億円)

	2021年度 上期	2022年度 上期	前年同期比
売上収益	16,630	17,053	423
営業利益 (営業利益率)	814 (4.9%)	1,009 (5.9%)	194 (1.0%)
金融損益等	80	296	216
税引前四半期利益	895	1,306	411
四半期利益(親会社所有者帰属)	529	719	190

部材供給遅延影響	△262	
再編ビジネス	△79	
上記除く	+765	4.7%

# 営業利益の内訳(上期)

(単位：億円)

		2021年度 上期	2022年度 上期	前年 同期比	増減率 (%)
本業	売上収益	16,630	17,053	423	2.5
	部材供給遅延影響	△149	△411	△262	-
	再編ビジネス	466	386	△79	△17.1
	上記除く	16,312	17,077	765	4.7
	営業利益 (営業利益率)	765 (4.6%)	747 (4.4%)	△17 (△0.2%)	△2.2
特殊事項(一過性損益)*	営業利益	49	261	212	426.7
連結計	売上収益	<b>16,630</b>	<b>17,053</b>	<b>423</b>	<b>2.5</b>
	営業利益	<b>814</b>	<b>1,009</b>	<b>194</b>	<b>23.9</b>
	(営業利益率)	<b>(4.9%)</b>	<b>(5.9%)</b>	<b>(1.0%)</b>	

\*事業再編に伴う一過性の損益、M & Aに関するコスト（アーンアウト、PPA関連コスト等）

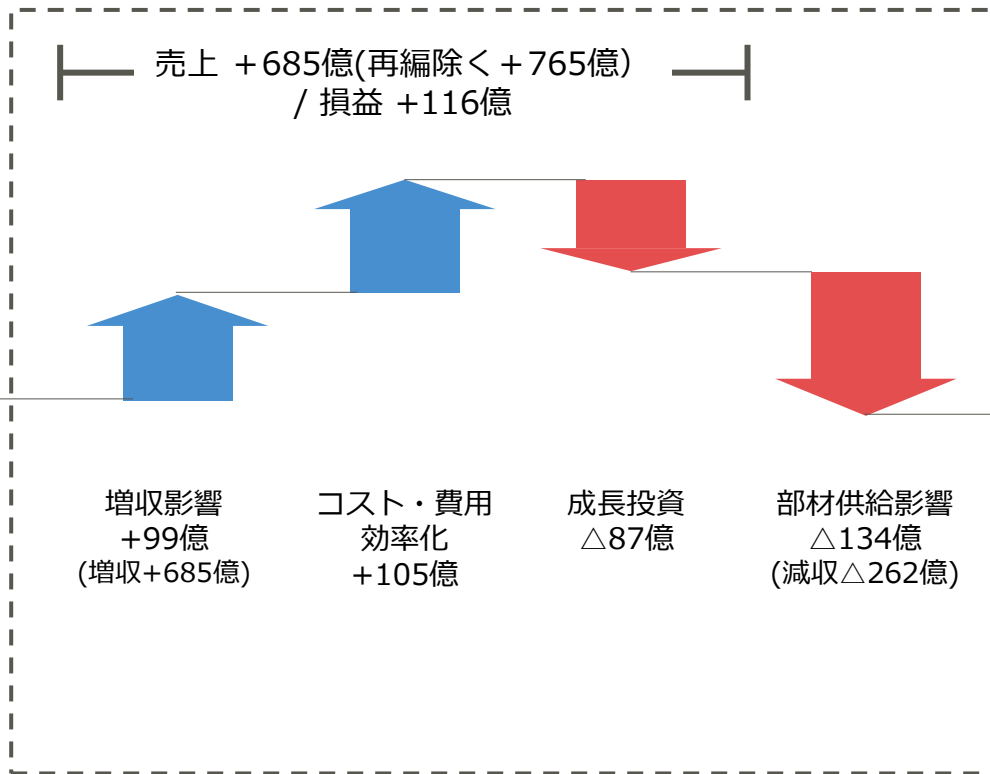
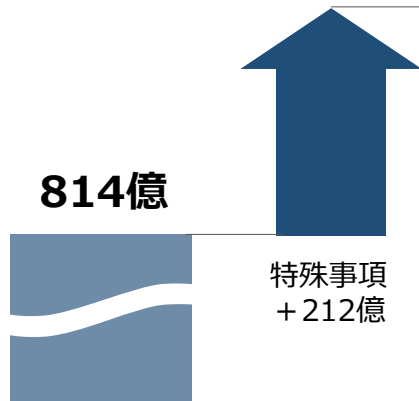
# 営業利益の内訳(四半期別)

(単位：億円)

		2022年度			前年同期比		
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
本業	売上収益	8,188	8,864	17,053	168	254	423
	部材供給遅延影響	△278	△132	△411	△278	16	△262
	再編ビジネス	232	154	386	30	△110	△79
	上記除く	8,235	8,842	17,077	417	347	765
	営業利益 (営業利益率)	280 (3.4%)	467 (5.3%)	747 (4.4%)	△57 (△0.8%)	40 (0.3%)	△17 (△0.2%)
特殊事項(一過性損益)	営業利益	△24	285	261	△24	236	212
連結計	売上収益	<b>8,188</b>	<b>8,864</b>	<b>17,053</b>	<b>168</b>	<b>254</b>	<b>423</b>
	営業利益	<b>256</b>	<b>753</b>	<b>1,009</b>	<b>△81</b>	<b>276</b>	<b>194</b>
	(営業利益率)	<b>(3.1%)</b>	<b>(8.5%)</b>	<b>(5.9%)</b>	<b>(△1.1%)</b>	<b>(3.0%)</b>	<b>(1.0%)</b>

# 営業利益の前年同期比の変動内訳(上期)

- ・21年度特殊事項の反動  $\Delta$  49億
- ・22年度特殊事項 +261億



1,009億



2021年度上期

2022年度上期



# 売上収益の状況

(単位：億円)

	2021年度 上期	2022年度 上期	前年 同期比	前年同期比内訳		
				部材供給 影響	再編 影響	部材供給・ 再編影響除く
<b>売上収益</b>	<b>16,630</b>	<b>17,053</b>	<b>423</b>	<b>△ 262</b>	<b>△ 79</b>	<b>765</b>
(1Q)	(8,019)	(8,188)	(168)	(△278)	(30)	(417)
(2Q)	(8,610)	(8,864)	(254)	(16)	(△110)	(347)
テクノロジーソリューション	14,128	14,253	125	△ 261	△ 79	466
ユビキタスソリューション	1,166	1,102	△ 64	△ 48	-	△ 15
デバイスソリューション	1,752	2,076	324	-	-	324
全社消去	△ 417	△ 379	37	48	-	△ 10

## ■ S I /サービスのデマンドは、DX/モダナイゼーション関連を中心として拡大

(単独 + 富士通Japan)	2021年度				2022年度			(S I /サービス)
	1Q	2Q	上期	下期	1Q	2Q	上期	
エンタープライズビジネス (産業・流通・小売)	91%	101%	96%	102%	110%	105%	108%	(111%)
ファイナンスビジネス (金融・保険)	109%	95%	101%	104%	101%	107%	104%	(104%)
J a p a nリージョン (官公庁・ミッションクリティカル)	85%	125%	100%	94%	114%	99%	107%	(115%)
富士通Japan (自治体・ヘルスケア・文教・民需(中堅他))	93%	91%	92%	87%	107%	93%	100%	(103%)
ネットワーク	122%	189%	151%	92%	74%	52%	62%	
合計 (内、S I /サービス)	93% (98%)	102% (109%)	99% (104%)	95% (103%)	106% (107%)	94% (109%)	100% (108%)	

ご参考：国内機種別受注の状況

(単独 + 富士通Japan)	2021年度				2022年度		
	1Q	2Q	上期	下期	1Q	2Q	上期
合計	93%	102%	99%	95%	106%	94%	100%
S I / サービス	98%	109%	104%	103%	107%	109%	108%
システムプロダクト	79%	93%	85%	91%	123%	98%	110%
ネットワーク	122%	189%	151%	92%	74%	52%	62%
P C	73%	71%	72%	83%	81%	70%	75%

## ■ Europeリージョンで公共系の大型商談の更新案件を獲得

	2021年度				2022年度		
	1Q	2Q	上期	下期	1Q	2Q	上期
Europe	118%	106%	111%	93%	99%	140%	120%
Services	118%	99%	107%	116%	105%	194%	156%
Products	117%	114%	115%	71%	94%	81%	87%
Americas	94%	118%	104%	134%	98%	87%	93%
Asia Pacific	119%	85%	101%	90%	83%	90%	86%
Services	107%	70%	86%	82%	77%	113%	93%
Products	134%	108%	121%	101%	89%	68%	80%

## 部材供給不足は緩和傾向、売価転嫁の対象も増加

(単位:億円)

		2021年度					2022年度		
		1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期
部材供給遅延の 影響額	売上高	-	△ 149	△ 149	△ 631	△ 780	△ 278	△ 132	△ 411
	損益	-	△ 71	△ 71	△ 239	△ 310	△ 129	△ 75	△ 205
前年比						売上高	△ 278	16	△ 262
						損益	△ 129	△ 4	△ 134

## ■ コスト・費用効率化は105億の改善

- ・ **ソリューション・サービス** ↗ … S I ビジネスの生産性向上  
デリバリー標準化・効率改善 (GDC活用)  
D X 人材施策効果
- ・ **システムプラットフォーム** ↘ … 部材購入価格高騰 (円安)
- ・ **海外リージョン** ↘ … 部材購入価格高騰 (対ドルユーロ安)

## ■ 持続的成長に向けた投資は、引き続き積極的に実施

(単位：億円)

	2021年度 上期	2022年度 上期	前年 同期比
<b>成長投資</b>	<b>370</b>	<b>595</b>	<b>224</b>
（内、営業費用）	(277)	(364)	(87)
（内、資産化投資）	(93)	(230)	(137)

### 価値創造に向けた投資

**121**      **279**      **157**

・ オフアリング開発	32	98	66
・ サービスデリバリーの変革	21	37	16
・ 新規事業創出、他	68	143	74

Fujitsu Uvance立ち上げに向けた投資  
 ジャパン・グローバルゲートウェイ、GDCの強化  
 M&A、グローバル基地局、スマートシティ

### 自らの変革に向けた投資

**249**      **316**      **67**

・ 社内DX投資	100	209	109
・ Work Life Shift	149	106	△42

One Fujitsuプロジェクト、セキュリティ強化  
 ボードレスオフィス（事業所の最適配置）

# 事業別セグメント情報(上期)

(単位：億円)

		2021年度			2022年度			
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	前年 同期比
テクノロジー	売上収益	6,870	7,257	14,128	6,822	7,431	14,253	125
ソリューション	営業利益	170	241	411	22	501	524	112
ユビキタス	売上収益	538	627	1,166	501	601	1,102	△64
ソリューション	営業利益	16	34	50	△31	△11	△42	△93
デバイス	売上収益	810	941	1,752	1,041	1,034	2,076	324
ソリューション	営業利益	151	201	352	264	264	528	175
全社消去	売上収益	△200	△217	△417	△176	△203	△379	37
連結計	売上収益	8,019	8,610	16,630	8,188	8,864	17,053	423
	営業利益	337	477	814	256	753	1,009	194



## テクノロジーソリューション

(単位：億円)

テクノロジーソリューション	2021年度 上期	2022年度 上期	前年同期比		
			増減率(%)		
売上収益	14,128	14,253	[△261]	125	0.9
営業利益	411	524	[△130]	112	27.3
(営業利益率)	(2.9%)	(3.7%)		(0.8%)	

売上収益(国内海外内訳)		[ ]内は部材供給遅延影響		
国内	9,902	9,397	△505	△5.1
海外	4,225	4,856	630	14.9

### ■ 前年同期比

#### ■ 売上収益

ソリューション・サービス、海外リージョンを中心に  
部材供給遅延影響をカバーし、増収

部材供給影響	△261億
再編	△79億
上記以外	+466億

#### ■ 営業利益

増収効果、一過性損益により増益となるものの、  
成長投資の拡大に加え、部材供給遅延影響を受ける

部材供給影響	△130億
本業(部材除く)	+21億
特殊	+221億

## テクノロジーソリューション (ソリューション・サービス)

(単位：億円)

ソリューション・サービス	2021年度 上期	2022年度 上期	前年同期比		増減率(%)
売上収益	8,454	8,156	[△349]	△298	△3.5
営業利益 (営業利益率)	566 (6.7%)	636 (7.8%)	[△58]	69 (1.1%)	12.3

営業利益内訳	[ ]内は部材供給遅延影響		
(本業)	( 546)	( 650)	( 103)
(特殊)	( 19)	( △ 13)	( △ 33)

### ■ 前年同期比

#### ■ 売上収益

S I /サービスは製造・金融を中心に増収  
ハード一体型ビジネスは部材供給影響を受け、減収

部材供給影響	△349億
再編	△79億
上記以外	+130億

#### ■ 営業利益

通常費用の効率化、採算性改善を進めたことにより  
再編影響、部材影響をカバーし、増益

部材供給影響	△58億
本業(部材除く)	+161億
特殊	△33億

## テクノロジーソリューション (システムプラットフォーム)

(単位：億円)

システム プラットフォーム	2021年度 上期	2022年度 上期	前年同期比		増減率(%)
			[ ]		
売上収益	2,867	3,010	[93]	143	5.0
システム プロダクト	1,847	1,891	[△33]	44	2.4
ネットワーク プロダクト	1,020	1,119	[126]	99	9.7
営業利益	158	89	[△64]	△69	△43.7
(営業利益率)	(5.5%)	(3.0%)		(△2.5%)	

### ■ 前年同期比

#### ■ 売上収益

部材供給遅延影響のリカバリ(ネットワーク)

#### ■ 営業利益

調達価格高騰及び為替変動により減益

売上収益(国内海外内訳)

[ ]内は部材供給遅延影響

国内	2,076	1,720	△355	△17.1
海外	790	1,289	499	63.1

## テクノロジーソリューション (海外リージョン)

(単位：億円)

海外リージョン	2021年度 上期	2022年度 上期	前年同期比		
			増減率(%)		
売上収益	3,466	3,703	[△46]	237	6.8
営業利益	51	△90	[△8]	△141	-
(営業利益率)	(1.5%)	(△2.4%)		(△3.9%)	

営業利益内訳 [ ]内は部材供給遅延影響

(本業)	( 51)	( △ 44)	( △ 95)
(特殊)	( -)	( △ 46)	( △ 46)

### 前年同期比

#### ■ 売上収益

Asia Pacificリージョンを中心に増収

#### ■ 営業利益

サービスビジネス商談終息及び  
プロダクト調達価格増により減益

本業	△95億
特殊	△46億 (M&A関連コスト)

## テクノロジーソリューション (共通)

(単位：億円)

共通	2021年度 上期	2022年度 上期	前年同期比
営業利益	△364	△110	253
(本業)	( △ 364)	( △ 417)	( △ 52)
(特殊)	( -)	( 306)	( 306)

### ■本業

自らの変革に向けた成長投資を積極的に実行

- データドリブン経営実現に向けた社内DX投資(One Fujitsu他)
- Work Life Shift(働き方の変革)… オフィス環境の見直し  
セキュアなネットワーク環境の構築

### ■特殊

事業譲渡に伴う一過性損益 (+306億)

## For Growthのビジネスが拡大…DX関連のSI・アプリが牽引、コンサルビジネスも成長

(単位：億円)

		2022年度								
		1Q			2Q			上期		
		For Growth	For Stability	合計	For Growth	For Stability	合計	For Growth	For Stability	合計
テクノロジー ソリューション	伸長率	98%	100%	99%	107%	100%	102%	102%	100%	101%
	売上収益	2,309	4,513	6,822	2,597	4,834	7,431	4,906	9,347	14,253
	(構成比)	(34%)	(66%)	(100%)	(35%)	(65%)	(100%)	(34%)	(66%)	(100%)
ソリューション・ サービス	伸長率	102%	93%	97%	105%	87%	96%	104%	90%	96%
	売上収益	1,937	1,947	3,884	2,143	2,128	4,271	4,080	4,076	8,156
システムプラット フォーム	伸長率	70%	103%	94%	111%	116%	115%	88%	110%	105%
	売上収益	266	1,061	1,327	325	1,357	1,682	591	2,419	3,010
海外リージョン	伸長率	115%	104%	104%	125%	108%	109%	121%	106%	107%
	売上収益	106	1,745	1,851	129	1,723	1,852	235	3,468	3,703
共通	売上収益	-	△241	△241	-	△374	△374	-	△616	△616

## ユビキタスソリューション

(単位：億円)

ユビキタス ソリューション	2021年度 上期	2022年度 上期	前年同期比		増減率(%)
売上収益	1,166	1,102	[△48]	△64	△5.5
営業利益 (営業利益率)	50 (4.3%)	△42 (△3.9%)	[△3]	△93 (△8.2%)	-

売上収益(国内海外内訳)

[ ]内は部材供給遅延影響

	2021年度 上期	2022年度 上期	前年同期比	増減率(%)
国内	645	631	△13	△2.1
海外	521	470	△50	△9.7

### ■ 前年同期比

#### ■ 売上収益

部材供給影響により減収

#### ■ 営業利益

為替変動による調達コスト増により減益

## デバイスソリューション

(単位：億円)

デバイス ソリューション	2021年度 上期	2022年度 上期	前年同期比	増減率(%)
売上収益	1,752	2,076	324	18.5
営業利益 (営業利益率)	352 (20.1%)	528 (25.4%)	175 (5.3%)	49.9

売上収益(国内海外内訳)

	2021年度 上期	2022年度 上期	前年同期比	増減率(%)
国内	415	478	62	15.1
海外	1,337	1,598	261	19.5

### ■ 前年同期比

#### ■ 売上収益

強いデマンドが継続

#### ■ 営業利益

所要増に加え、為替影響もプラス



(単位：億円)

	2021年度 上期	2022年度 上期	前年同期比
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,720	877	△842
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△679	△404	274
I + II フリー・キャッシュ・フロー	1,040	472	△567
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,092	△834	257
IV 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,761	4,575	△186

- 営業キャッシュ・フロー : (－) 棚卸資産の増加：下期売上拡大対応(部材供給遅延)  
(－) DX人材施策に関する支払
- 投資キャッシュ・フロー : (+) 目指すべき事業ポートフォリオに向けたアセットの入れ替え  
(事業のカーブアウトなど)

## 非注力領域のカーブアウト

Cash In

FY22： P F U | 富士通セミコンダクター・メモリソリューション | ソシオネクスト (3Q)

※他のノンコア事業についても、企業価値向上に繋がるカーブアウト／資本・業務提携等を具体的に検討中  
(新光電気、富士通ゼネラル、FDK 他)

## 注力領域のケーパビリティ増強

Cash Out

IPやケーパビリティ、成長性／収益性などを見極め、戦略的に資本・業務提携やM&Aを進める

(FY21 ペルテ社 (業種アプリ) | Versor社 (データアナリティクス) | oobe社 (Azure, M365) )

FY22 Enable Professional Services社 (ServiceNow, コンサルティング) | InPhySec社 (セキュリティ) (3Q)

## 政策保有株式の縮減

Cash In

保有の合理性を見極め継続的に圧縮：FY22上期 約150億円売却

(単位：億円)

	2021年度末	2022年度2Q末	前年度末比
資産	33,318	32,239	△1,078
負債	16,160	14,305	△1,855
資本（純資産）	17,157	17,934	777
親会社所有者帰属持分（自己資本）	15,907	16,503	596

(ご参考)財務指標

有利子負債	2,853	2,436	△416
（ネット有利子負債）	(△1,987)	(△2,138)	(△151)

## 2. 2022年度 連結業績予想

(単位：億円)

		2021年度 (実績)	2022年度 (予想)	前年度比	増減率 (%)	7月 予想比
<b>本業</b>	売上収益	<b>35,868</b>	<b>37,200</b>	<b>1,331</b>	<b>3.7</b>	-
	再編ビジネス *1	677	-	△677	-	-
	上記除く	35,190	37,200	2,009	5.7	-
	営業利益 (営業利益率)	<b>2,756</b> (7.7%)	<b>3,900</b> (10.5%)	<b>1,143</b> (2.8%)	<b>41.5</b>	- (-%)
特殊事項(一過性損益) *2	営業利益	△564	100	664	-	-
<b>連結計</b>	売上収益	<b>35,868</b>	<b>37,200</b>	<b>1,331</b>	<b>3.7</b>	-
	営業利益 (営業利益率)	<b>2,192</b> (6.1%)	<b>4,000</b> (10.8%)	<b>1,807</b> (4.7%)	<b>82.5</b>	- (-%)
	当期利益 *3	<b>1,826</b>	<b>2,800</b>	<b>973</b>	<b>53.3</b>	-

\*1 PFU：2021年9月～4Qの金額を再編ビジネスに含めております。

\*2 事業再編に伴う一過性の損益、M&Aに関するコスト(アーンアウト、P P A関連コスト等)

\*3 親会社の所有者に帰属する当期利益

(単位：億円)

		2021年度 (実績)	2022年度 (予想)		前年度比	増減率(%)
			今回予想	7月予想比		
テクノロジー ソリューション	売上収益	30,563	32,000	-	1,436	4.7
	営業利益	1,350	3,300	-	1,949	144.4
ユビキタス ソリューション	売上収益	2,371	2,300	-	△71	△3.0
	営業利益	58	-	-	△58	△100.0
デバイス ソリューション	売上収益	3,759	3,900	-	140	3.7
	営業利益	783	700	-	△83	△10.6
全社消去	売上収益	△826	△1,000	-	△173	-
連結計	売上収益	35,868	37,200	-	1,331	3.7
	営業利益	2,192	4,000	-	1,807	82.5

# 事業別セグメント情報 (テクノロジーソリューション内訳)

(単位：億円)

		2021年度 (実績)	2022年度 (予想)		前年度比	増減率(%)	
			今回予想	7月予想比			
テクノロジー ソリューション	売上収益	30,563	32,000	-	1,436	4.7	
	営業利益	1,350	3,300	-	1,949	144.4	
ソリューション・ サービス	売上収益	18,405	18,600	-	194	1.1	
	営業利益	1,887	2,650	-	762	40.4	
システム プラットフォーム	システム プロダクト	売上収益	3,847	4,300	-	452	11.8
	ネットワーク プロダクト	売上収益	2,328	2,500	-	171	7.4
システム プラットフォーム	売上収益	6,175	6,800	-	624	10.1	
	営業利益	566	900	-	333	58.8	
海外リージョン	売上収益	7,293	8,000	-	706	9.7	
	営業利益	239	300	-	60	25.2	
共通	売上収益	△1,310	△1,400	-	△89	-	
	営業利益	△1,344	△550	-	794	-	

**Thank you**





# 免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- 主要市場における景気動向(特に日本、欧州、北米、オセアニア、中国を含むアジア)
- 為替動向、金利変動
- 資本市場の動向
- 価格競争の激化
- 技術開発競争による市場ポジションの変化
- 部品調達環境の変化
- 提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- 公的規制、政策、税務に関するリスク
- 製品、サービスの欠陥や瑕疵に関するリスク
- 不採算プロジェクト発生の可能性
- 研究開発投資、設備投資、事業買収・事業再編等に関するリスク
- 自然災害や突発的事象発生のリスク
- 会計方針の変更

# 補足資料

# 事業別セグメント情報 (四半期別損益推移)

(単位：億円)

		2021年度				2022年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
テクノロジー ソリューション	売上収益	6,870	7,257	7,381	9,054	6,822	7,431
	営業利益	170	241	402	535	22	501
ソリューション・ サービス	売上収益	3,986	4,467	4,375	5,574	3,884	4,271
	営業利益	201	365	382	938	299	337
システム プラットフォーム	売上収益	1,408	1,458	1,442	1,866	1,327	1,682
	営業利益	79	78	58	350	5	83
海外リージョン	売上収益	1,772	1,694	1,923	1,904	1,851	1,852
	営業利益	22	28	116	71	△61	△29
共通	売上収益	△296	△363	△359	△291	△241	△374
	営業利益	△133	△230	△154	△825	△219	109
ユビキタス ソリューション	売上収益	538	627	608	596	501	601
	営業利益	16	34	6	1	△31	△11
デバイス ソリューション	売上収益	810	941	1,017	989	1,041	1,034
	営業利益	151	201	242	188	264	264
全社消去	売上収益	△200	△217	△202	△206	△176	△203
連結計	売上収益	8,019	8,610	8,805	10,433	8,188	8,864
	営業利益	337	477	651	725	256	753

# 事業別セグメント情報 (国内海外売上高)

(単位：億円)

		2022年度				
		1Q	2Q	上期	前年同期比	増減率(%)
テクノロジー ソリューション	売上収益	6,822	7,431	14,253	125	0.9
	国内	4,478	4,918	9,397	△505	△5.1
	海外	2,343	2,512	4,856	630	14.9
ソリューション・ サービス	売上収益	3,884	4,271	8,156	△298	△3.5
	国内	3,776	4,198	7,975	△269	△3.3
	海外	107	72	180	△28	△13.7
システム プラットフォーム	売上収益	1,327	1,682	3,010	143	5.0
	国内	812	908	1,720	△355	△17.1
	海外	515	774	1,289	499	63.1
海外リージョン	売上収益	1,851	1,852	3,703	237	6.8
	国内	1	1	2	△1	△31.0
	海外	1,850	1,851	3,701	238	6.9
共通	売上収益	△241	△374	△616	42	-
ユビキタス ソリューション	売上収益	501	601	1,102	△64	△5.5
	国内	280	350	631	△13	△2.1
	海外	220	250	470	△50	△9.7
デバイス ソリューション	売上収益	1,041	1,034	2,076	324	18.5
	国内	238	240	478	62	15.1
	海外	803	794	1,598	261	19.5
全社消去	売上収益	△176	△203	△379	37	-
連結計	売上収益	8,188	8,864	17,053	423	2.5
	国内	4,836	5,319	10,155	△412	△3.9
	海外	3,352	3,545	6,897	835	13.8
海外売上比率		40.9%	40.0%	40.4%	4.0%	

# 海外リージョンの内訳

(単位：億円)

		2021年度 2Q	2022年度 2Q	前年 同期比	
海外リージョン	売上収益	1,694	1,852	158	
	営業利益	28	[△1] △29	[△30]	△57
Europe	売上収益	1,257	1,289	31	
	営業利益	10	[△19] △21	[△29]	△32
Americas	売上収益	95	122	27	
	営業利益	7	[9] 8	[2]	1
Asia Pacific	売上収益	288	392	104	
	営業利益	5	[2] △20	[△2]	△26
East Asia	売上収益	85	104	19	
	営業利益	1	[2] 2	[1]	1
その他/消去	売上収益	△32	△57	△24	
	営業利益	4	[2] 2	[△1]	△1

(注)売上収益には、地域間の内部売上収益を含みます。

[ ]内は特殊事項除く本業

		2021年度 上期	2022年度 上期	前年 同期比	
		3,466	3,703	237	
		51	[△44] △90	[△95]	△141
		2,575	2,564	△10	
		15	[△80] △83	[△95]	△98
		196	252	56	
		15	[18] 16	[2]	-
		604	782	178	
		9	[14] △26	[5]	△36
		155	199	44	
		2	[3] 3	[-]	-
		△65	△96	△30	
		8	[-] -	[△8]	△8

# 連結業績予想の前提条件等

## ①フリー・キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	2021年度 (実績)	2022年度 (予想)	7月予想比
フリー・キャッシュ・フロー	1,890	2,800	-

## ②為替レート（平均）・為替感応度

	2021年度 (実績)	2022年度			為替感応度 下期 (予想)※
		上期 (実績)	下期 (予想)	7月予想比	
米ドル/円	112	134	115	-	△4 億円
ユーロ/円	131	139	130	-	0 億円
英ポンド/円	154	163	155	-	△1 億円

※1円の為替変動(円高)による営業利益への影響額(概算)

### ③設備投資・減価償却費（有形固定資産）

(単位：億円)

	上期		通期		7月予想比
	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (予想)	
テクノロジーソリューション	248	213	464	500	-
ユビキタスソリューション	-	-	-	-	-
デバイスソリューション	189	320	425	900	-
設備投資	437	534	889	1,400	-
減価償却費	434	448	895	1,000	-

設備投資、減価償却費にはIFRS16号（リース）適用の影響を含んでおりません

### ④研究開発費

研究開発費 (売上収益比)	510 (3.1%)	490 (2.9%)	1,053 (2.9%)	1,050 (2.8%)	- -
------------------	---------------	---------------	-----------------	-----------------	--------

2022年10月21日発行

## [統合レポート 2022](#)

富士通の事業活動や価値創造に向けた取り組みを統合的かつ簡潔にご紹介しています。

2022年10月14日発行

## [サステナビリティデータブック 2022](#)

国内、国外の情報開示基準に対応し、富士通グループの社会・環境・ガバナンス分野に関する活動方針や組織体制、社内外での取り組み、活動目標とその実績などをまとめて報告しています。